

# 家 庭

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力を養うことができるよう工夫されているか。
	(5) 社会性、経済性、環境などを考慮し、実践的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

## II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	教 図	開隆堂
<p>1 図教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を</p>	<p>(1) 「教科の特質に於いて、教育の目的が及び人間教育の育成に資する内容、構成となつていくか。」の育成に資する内容、構成となつていくか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立と共生、問題を解決する学習の道筋、生活の営みに係る見方・考え方、家族・家庭の機能など、ガイダンス資料の内容が充実しており、家庭分野の学びを通して、よりよい生活の実現に向けて豊かな創造性を身に付けることができるよう配慮されている。</li> <li>各編末や巻末を、持続可能な生活と関連付けて構成することで、社会や人、環境などに配慮した持続可能な社会の構築に向けて、人々と協働し行動する人間の育成につながるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各題材の導入において、身近な生活場面での対話の様子を基に、生活の営みに係る見方・考え方の視点を示すことで、進んで課題解決に取り組み、よりよい生活の実現に向けて柔軟な発想力と豊かな創造性を育むことができるよう配慮されている。</li> <li>A、B、Cの各内容及び他教科や技術分野、小学校との関連を示すことで、系統的・教科等横断的に学習を深め、幅広い知識と教養を身に付けて将来の生活に生かすことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習のまとめごとに統一した学習過程で構成し、対話や意見交換ができるような学習活動を多く仕組むことで、見通しをもって学び、主体的に課題解決に取り組み、自らの考えを広げ深めることができるよう配慮されている。</li> <li>日常生活の中でなぜそうするのか、という問いを設定することで、生活を科学的に見つめ、真理を探究する態度を養い、生活をよりよくするために工夫し創造する力を身に付けることができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(2) ふるさと長崎の伝統文化や歴史、自然について理解を深め、豊かな人間性の育成を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本各地の郷土料理として、長崎県の卓袱料理が掲載されており、自分たちの地域に伝わる郷土料理への関心を高め、諸外国との伝統的な食のつながりや食文化と関連付けて学ぶことができるよう配慮されている。</li> <li>日本で発生した主な災害として、雲仙普賢岳噴火災害が記載されており、自分の住む地域の災害の危険性について理解し、防災や減災への意識を高め、災害に備えることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の食材として、長崎県のサバが掲載されており、地域の食材への関心を高めるとともに、地産地消の利点や地域経済の活性化との関連等について理解することができるよう配慮されている。</li> <li>全国各地の郷土料理として、長崎県のちゃんぽんが掲載されており、地域の食材を用いた郷土料理や食文化について関連付けて学習することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本各地の地場産物として、松浦のサバ類やアジ類、島原半島のじゃがいもなどが掲載されており、地場産物の良さを知り、地産地消について理解することができるよう配慮されている。</li> <li>長崎ちゃんぽん、波佐見焼、雲仙普賢岳噴火災害が掲載されており、地域の食文化や伝統文化について理解を深めるとともに、防災・減災への意識を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>

III 具体項目

観点	発行者	東 書	教 図	開隆堂
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得しているか。基本的な知識・技能を確実にすることができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いつも確かめよう」で食生活や衣生活における基礎的・基本的な知識・技能について分かりやすく示すことで、日常生活での実践を促し、より確実な定着を図ることができるよう工夫されている。</li> <li>「学習のまとめ」や「言葉のページ」で、家庭分野の重要語句をまとめて示すことで、いつでも確認しながら基礎的・基本的な知識の定着を図ることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目を「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」の三つのステップで構成することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、見直しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。</li> <li>「確認」や「私の学び」において、学習をスモールステップで振り返ることで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得につなげることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理の実習例に「調理方法Q&amp;A」を設定することで、科学的根拠に基づいた基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、生活の中で活用することができるよう工夫されている。</li> <li>学習のまとめりごとの「ふり返り」で記述式の間いを設定することで、自分の言葉で理解を確かめ、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(2) 知識・技能を表現力等に活用して課題を解決することができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「問題を解決する道筋と見方・考え方」において、生活の営みに係る見方・考え方の例を示すことで、視点を明確にして学習活動に取り組み、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう工夫されている。</li> <li>調理や布を用いた製作で「私のオリジナル」として、生活の中で生かせる工夫例を示すことで、家庭での実践を促し、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目に「学びを生かそう」を設定し、問題解決的な学習の手順やプロセスを分かりやすく示すことで、知識や技能を活用して思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> <li>「話し合ってみよう」「考えてみよう」などの主体的・対話的な学習活動を設定することで、課題解決に向けて知識・技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「発表をしよう」などに小課題を設定し、課題解決に繰り返し取り組ませることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> <li>「学習のまとめ」に、学びを振り返って考えたことを自分の言葉で記述する活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイダンスに「自分の生活をチェックしよう」を設けることで、自分の生活を見つめ課題意識をもつとともに、学びを振り返りながら自らの成長を確認することができるよう工夫されている。</li> <li>巻末に「家庭分野の学習を終えて」「学んだことを社会に生かす」を設けることで、家庭分野の学びと社会とのつながりを実感し、学びを継続しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入に「自立度チェック」を設け、学習に入る前の自己評価を行うことで、普段の生活を振り返り、よりよい生活の実現に向けて学習する意欲を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>各章末の「センパイに聞こう」で、地域や社会で活躍する人や学習に関わりのある人からのメッセージを掲載することで、将来の生活に学びを生かそうとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習のまとめりごとに「私の興味・関心」を設け、学習前後の自分の変容を確認することで、学習への意欲を高め、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。</li> <li>各題材の導入場面で、学習の動機付けとなる身の回りの生活に関する課題を提示することで、生徒が自分自身の生活を見つめ、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	教 図	開隆堂
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 生活や社会の中から問題を養うことのできるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の決め方のヒント、まとめや発表の仕方のポイント、思考ツールの活用例を提示することで、生徒の思考を広げ、表現力を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>主体的・対話的な学びを行う「活動」のコーナーを多く設けることで、生活と学びのつながりを明確にし、実生活に生かすことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学びを生かそう」で、課題設定のヒントや課題例を示すことで、身近な生活の中から問題を見だし、課題を解決する力を身に付けることができるよう工夫されている。</li> <li>身近な問題を提示した「考えてみよう」や「話し合ってみよう」を設定することで、生活の問題に気付き、解決方法を考える力を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の課題と実践の進め方や実践例を具体的に示すことで、学習の流れを理解し、問題解決のプロセスに沿って取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>章末ごとに「生活にいかそう」を設け、実生活に即した課題に取り組むことで、学んだことを活用して課題を解決する力を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>(5) 社会的・体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エコクッキング」で、買い物、調理、後片付けの一連の活動について提示することで、環境に配慮した生活への実践的態度を身に付けることができるよう配慮されている。</li> <li>住生活の「やってみよう」では、幼児の視界体験や高齢者体験と住まいを関連させることで、家族の安全な住まい方について考え、実生活に生かすことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>布を用いた製作の「私のアレンジ」では、衣服のリフォームやリメイクの例を掲載することで、環境に配慮した生活の実践につなげることができるよう配慮されている。</li> <li>調理の実習例では、アレンジ例や失敗例を示すことで、手順の根拠を明確にし、実習への意欲を高め、生活での実践につなげることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章末にSDGsの目標と関連させて考える課題を設けることで、学びを生かして持続可能な社会の実現を目指そうとする態度を養うことができるよう配慮されている。</li> <li>調理において、安全面や衛生面で注意が必要な場面にマークを付けることで、意識を高めて実習に臨み、実生活に生かすことができるよう配慮されている。</li> </ul>

III 具体項目

家庭

観点	発行者	東 書	教 図	開隆堂
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特</p>	<p>(1) 文章は、分かりやすく、記述と量とも適切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターを効果的に登場させ、分かりやすく簡潔な表現で示唆することで、見方・考え方の視点に気付くことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を簡潔な表現でまとめたり、キャラクターの吹き出しを文節で改行したりすることで、要点が分かりやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材名を、生徒が学習内容に興味・関心をもつように工夫することで、課題意識を高め、意欲的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(2) 写真、挿絵、図表など、学習効果に十分配慮されたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「活動」コーナーの周辺に、参考となる写真や図表などの資料を掲載することで、生徒の思考の幅を広げ、学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>食品を手ばかりした状態を実物大の写真で示すことで、1日に必要な食品の概量を視覚的に実感することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>売買契約の仕組みの学習では、カードのイラストや吹き出しのコメントを効果的に提示することで、学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>巻末に、献立作成の際に活用できる「料理シール」を付すことで、意欲的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料自給率をグラフや献立図で示すなど、学習内容と関連した資料を効果的に提示することで、理解を深めることができるよう配慮されている。</li> <li>「先輩からのエール」で、様々な職種の人々のメッセージを掲載することで、将来につながる学びを意識し、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(3) レイアウトや色紙、紙質、文字の大きさに配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に「子どもの視界体験眼鏡」や「防災・減災手帳」を付すことにより、教科書と切り離して学習や生活に活用することができるよう配慮されている。</li> <li>栄養素のページと6つの食品群のページをつなげるようにレイアウトすることで、学習に効果的に活用することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A、B、Cの内容ごとに背景色を統一したり、ページの上部に学習過程を示すタグを付けたりすることで、視覚的に分かりやすくなるよう配慮されている。</li> <li>各項目のタイトル名を大きく表示したり、本文中の重要語句を色で示したりすることで、見やすく分かりやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の手形や様々な野菜の写真を実物大で示したり、伝統文様等を効果的に扱ったりすることで、生徒の興味・関心を高めることができるよう配慮されている。</li> <li>6つの基礎食品群では、栄養素を確かめる実験を掲載することで、科学的根拠を視覚的に確認することができるよう配慮されている。</li> </ul>